

01 スロープによる 玄関アプローチ

車椅子でも容易に玄関までアプローチできるように、幅 90cm、勾配が 1/13 のスロープを設置しています。

02 玄関

スロープと併せて、間口の広い階段を設けて、楽に出入りができるつくりとしています。



03 間口の広い玄関

車椅子による出入りや、介助者の支えによる出入りを想定し、間口を広くした玄関を設けました。入口脇のガラスには防犯ガラスを採用しており、防犯性の向上を図っています。



04 木製ルーバーの天井

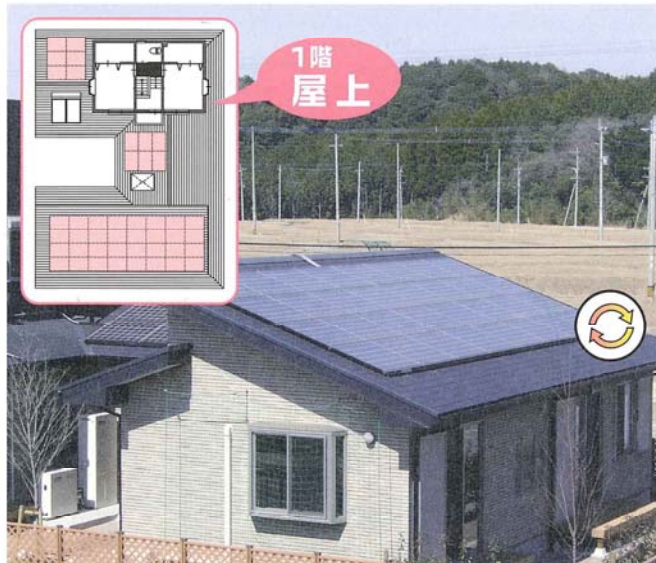
壁面の上部に設けた窓からの自然通風を確保し、光を取り入れることのできる木製ルーバーを、天井に取り付けています。



太陽光発電・太陽熱温水器・エコキュート・エネファーム

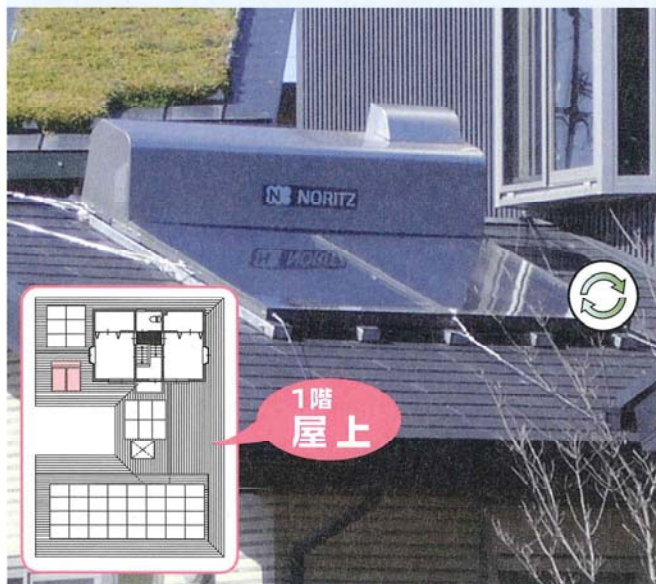
太陽光発電と太陽熱温水器

普段何気なく見ている屋根の上のパネル。これには大きく分けて2つの種類があります。ひとつは太陽光発電という、太陽光によって電気を発電するもの。そしてもうひとつは、太陽熱でお湯をつくる装置。これらの機器を近くて見ることが出来ます。



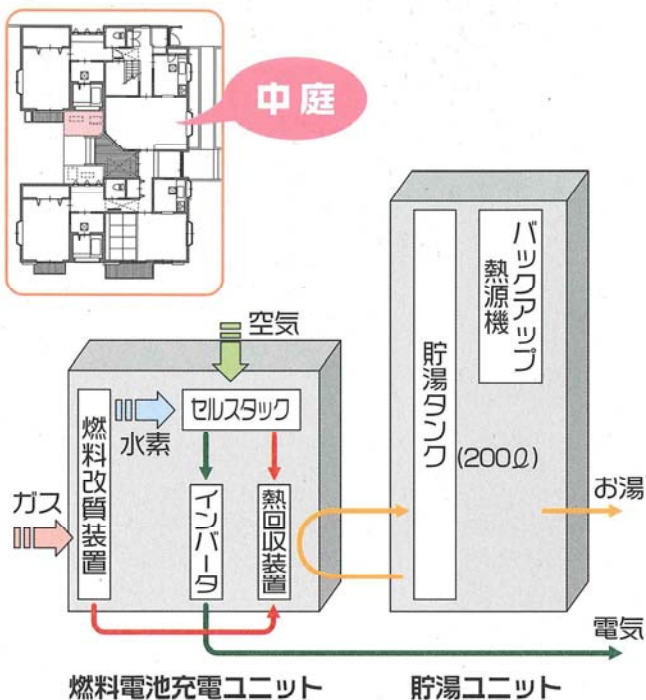
01 太陽光発電設備 (若者世帯: 2.23kw/h) (高齢者世帯: 5.95kw/h)

屋上に設置した太陽光発電パネルで発電します。太陽光発電設備で発電し、余った電力は、電力会社に売電することも可能です。



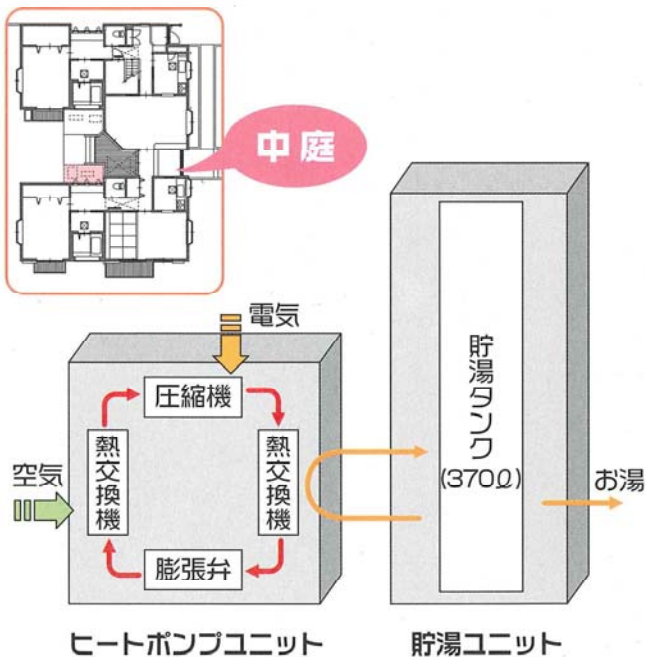
02 太陽熱温水器給湯 (容量: 225ℓ = 約お風呂1回分)

屋上に設置した太陽熱温水器でお湯をつくれます。温めたお湯はタンクにためて、お風呂で使用します。



03 エネファーム (若者世帯: 0.75kw/h)

ガスから水素を取り出し、空気中の酸素と反応させて発電し、この発電時に発生する熱でお湯をつくります。



04 エコキュート

自然界にある空気の熱を有効利用してお湯をつくるヒートポンプ給湯器です。割安な夜間の電力を利用します。



県産再資源レンガ・ヒートアイランド対策レンガ・雨水タンク・太陽光・風力発電外灯

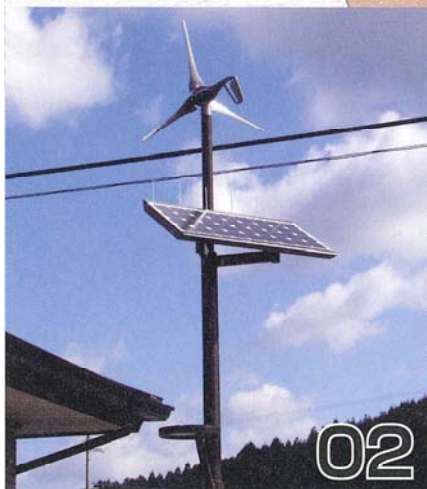


ウッド
デッキ



01 再生ウッドデッキ

再生材を使用したウッドデッキを中心に、屋外設備や自然に配慮した外まわりを見学できます。



02 太陽光・風力発電外灯

太陽光・風力発電を利用した外灯を設置しています。



03 雨水タンクの活用

雨水をタンクに貯水し、庭の散水に利用します。



04 防犯砂利を体験

防犯砂利は通常の砂利敷きよりも大きな音が出るため、防犯性に優れています。



05 エコレンガの使用

県産再資源レンガや、保水性能の高いヒートアイランド対策レンガを使用しています。

この施設のコンセプトとプロセス

鹿児島県省エネルギー体験住宅では、比較体験ができるように、若者世帯と高齢者世帯を想定した二世帯住宅とし、『楽しく、自然とふれあうことのできる家』を計画しました。

若者世帯では、独立した子どもたちが将来戻ってきたいと望むような家をイメージして、設計に取り組みました。そのため建物外観は現代的なデザインを採用し、若い世代でも愛着を持って住み続けられるように配慮しています。

高齢者世帯においては、体が不自由になっても生活しやすい家を目指しました。

環境共生モデル団地として開発された「ガーデンヒルズ松陽台」にある省エネルギー体験住宅は、ふれあい公園やせせらぎのある歩道に隣接しており、自然エネルギーを積極的に活用しています。また、設備機器や建材、建物のデザインにおいても省エネルギーにこだわった計画とし、『来て、見て、体験して、住まいづくりに活かせる住宅』という施設のテーマのもと、県民の皆様が省エネルギーに関する工夫・設備を気軽に比較・体験できるモデル住宅として計画しました。これらの機器などは、パネル等を用いて分かりやすく紹介をしていきます。

この施設が完成するまでには、以下のようなプロセスを経ています。

